資料2

第7回
鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

令和2年度の取組及び今後の取組について

下館河川

1）ハード対策の主な取組

■洪水を河川内で安全に流す対策

●鬼怒川・小貝川の河川改修
✓大規模溢水箇所等の堤防整備

【国の取り組み】

関東地整

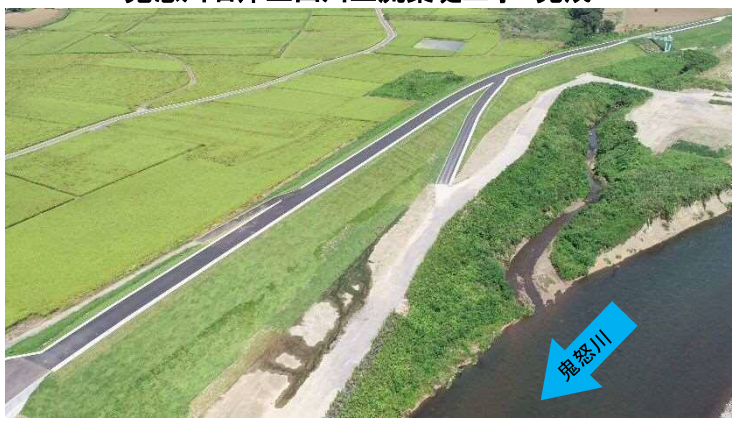
鬼怒川左岸二本紀地区外周辺整備工事　完成

鬼怒川右岸本郷築堤工事　完成

鬼怒川左岸前河原上流工事　完成

鬼怒川左岸関本肥土下流築堤工事　完成

鬼怒川右岸上山川上流築堤工事　完成



下館河川

1）ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

●雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備
✓リスクが高い区間の水位情報をリアルタイムで自治体へ伝送する環境をH28年度～整備
✓サーバー増設により鬼怒川・小貝川59箇所のライブ映像を配信

【国の取り組み】令和3年2月現在

関東地整

関東地整

CCTVカメラの配信継続（全59箇所）

＜下館河川事務所HPにて配信中＞

クリックすると・・

下館河川

1）ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

●簡易水位計や量水標、簡易型河川監視カメラの設置
✓簡易水位計や量水標、簡易型河川監視カメラを整備し、配信中

【国の取り組み】令和3年2月現在

関東地整

関東地整

○ 簡易水位計　59箇所設置

簡易水位計

簡易水位計観測のデータは、関係市町に提供を行う。
（観測範囲：堤防天端から約4～5m程度）

下館河川

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

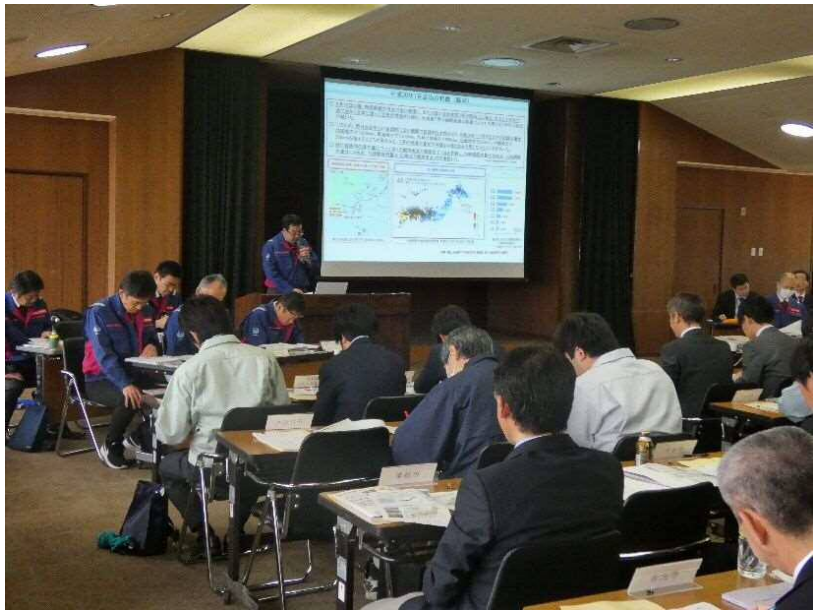
■防災教育や防災知識の普及

●水防災に関する説明会の開催
✓水防災に関する説明会を開催する

【国の取り組み】

関東地整

○出水期に係る対応等に関する連絡会・意見交換会を開催



出水期に係る対応等に関する連絡会（※写真はR元年度開催時）

首長との意見交換会（トップセミナー）
つくばみらい市

・水防災の意識の共有・再確認を図るため「関係機関向け説明会」を開催
⇒令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「出水期に係る対応等に関する連絡会」は資料発送による開催としました
⇒R2．6．25から関係市町を対象に首長との意見交換会（トップセミナー）を実施

下館河川

2）ソフト対策の主な取組　①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●出前講座等を活用した講習会の実施
✓出前講座等を活用し、水防災意識を高めるための講習会を実施する。

【国の取り組み】

関東地整

『マイ・タイムライン作成講座を、YouTubeで生配信』

【概要】一人ひとりの家族構成や生活環境にあった自分自身の防災行動計画「マイ・タイムライン」を作る講座を新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、YouTubeで生配信しました。
【開催日時】令和２年９月５日（土）１１時～約４０分
【講師】常総市出身の防災芸人赤プル（マイ・タイムラインリーダーA級）

『マイ・タイムラインリーダー認定講座（オンライン）を開催』

【概要】早期避難・逃げ遅れゼロの大切さをより多くの方々に再度知ってもらえるようにマイ・タイムラインリーダー認定講座を開催しました。初めてお天気キャスターを講師に招き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、オンライン（ZOOM）で実施。
【開催日時】令和２年１１月２８日（土）
①１０時～、②１３時～
【講師】お天気キャスター　菊池　真以さん

YouTube生配信の様子

菊池講師による認定講座

ハザードマップの説明（常総市）

下館河川

2）ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

●水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
✓毎年、国が実施している重要水防箇所等の共同点検に参加

【令和2年度実施状況】

平成二八年度から概ね五年で実施する機関

古河市
結城市
龍ケ崎市
下妻市
常総市
取手市
つくば市
守谷市
筑西市
坂東市
つくば みらい市
八千代町
利根町

:R2年度実施の機関
:R2年度未実施の機関
:R3年度以降実施予定または対象なしの機関

【具体事例】

沿川市町、茨城県、気象庁、関東地整

水防災の意識の共有・再確認を図るため、水防団、市町、栃木県、国が連携し、一般市民も参加した現地での「共同点検」を実施
※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から資料発送による開催としました。（写真はR元年度開催時）

取手市　実施日06.17

筑西市　実施日06.20

下妻市　実施日06.24

結城市　実施日06.26

つくば市　実施日07.2

八千代町　実施日07.3

古河市

別紙２－２

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

マイ・タイムライン作成啓発動画の作成

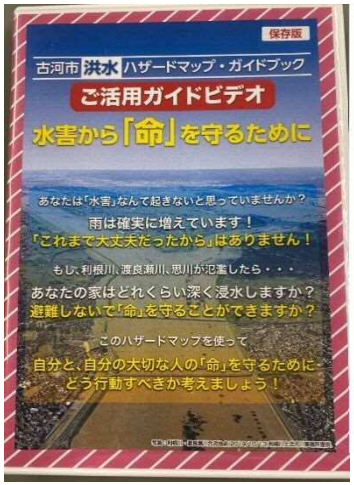
令和２年度の取組状況

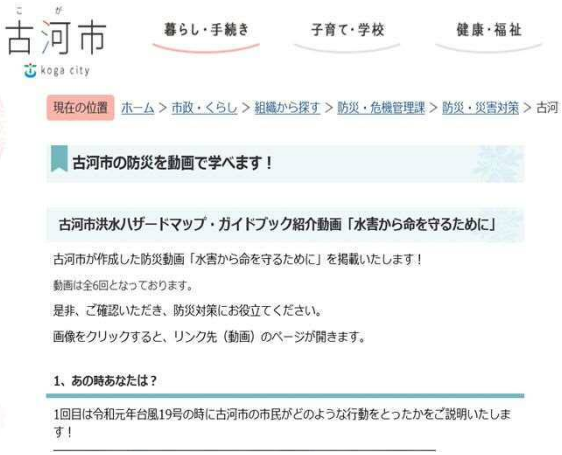
〇水害から「命」を守るための行動をとってもらうため、ハザードマップ・ガイドブックに沿って、マイ・タイムラインの普及啓発動画を作成し、周知しています。

・令和２年４月　ハザードマップを全戸に配布。

・令和２年６月　古河ケーブルテレビに委託して、ハザードマップ・ガイドブック啓発動画を作成。ケーブルテレビで適宜放映中。
動画はDVDにして、貸出にも対応。

・令和２年８月　上記ケーブルテレビ作成の動画とは別に、マイ・タイムラインを作成するための動画を作成。市ホームページにて、公開。全６回の動画に分け、令和元年東日本台風（台風１９号）の時の振り返りから、ハザードマップ・ガイドブックを用いて、水害が起きる仕組み、水害から命を守る行動について解説。動画を通してマイ・タイムラインの作成を学べるつくりとなっています。





古河市

別紙２－３

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

●タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練

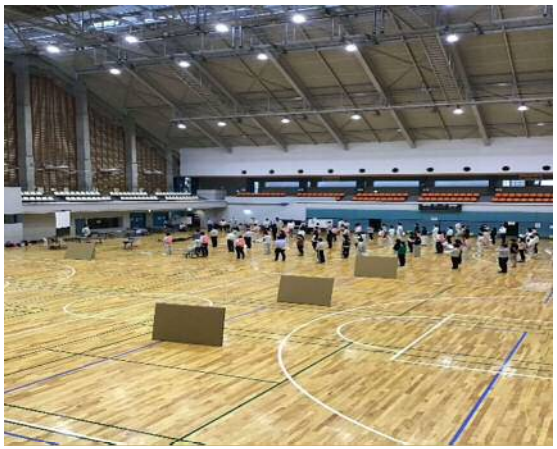
令和２年度の取組状況

○災害時に、迅速で的確な災害対応をするための職員の訓練を実施しました。

●今年度はコロナ禍における避難所開設・運営訓練を重点的に実施しました。

・令和２年７月３日（金） 各避難所等で、避難所担当職員が現地確認を実施。
福祉スペース、発熱・咳等避難者スペースとする教室等を施設管理者と確認、調整。
物品の保管場所や使用方法等も確認。

・令和２年９月２９日（火） 新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所開設・運営訓練の実施。
古河市中央運動公園総合体育館で避難所担当職員を対象に、避難所の開設・運営に関して、共通認識をもって対応できるように、ロールプレイング方式で、開設・運営の流れについて訓練しました。
参加者約１００名。



結城市

別紙２－６

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■地域の防災リーダーの育成

●自治協力員及び自主防災組織代表者等を対象に防災訓練を開催

令和2年度の取組状況

結城市民防災訓練の開催

○参加者
自治協力員及び自主防災組織代表者等（約100名）

○目的
自治協力員及び自主防災組織代表者等に防火・防災に関する関心を喚起し，自主防災組織結成促進及び避難所開設・運営意識の高揚を図る

○内容
①防災講演会
「避難所の開設と運営」
②情報伝達訓練
「結城市LINE公式アカウント」を利用した市民への周知訓練
③避難所受付訓練
新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所受付のデモンストレーション（女性消防団）
④参加者による意見交換会

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■地域の防災リーダーの育成

①防災講演会
②情報伝達訓練

①【防災講演会】

○茨城県防災士会　講師による，「避難所開設と運営について」

②【情報伝達訓練】

○講演会終了後の休憩時間に，「結城市ライン公式アカウント」による避難勧告情報の提供

この投稿は【訓練】です。
【令和2年度結城市民防災訓練】

⚠緊急情報⚠
■発令時刻
11月29日 午前10時55分
■発令内容
・避難勧告　警戒レベル４
危険な場所から全員避難

▶鬼怒川の水位が避難判断水位に達しました。
▶以下の対象地域の方は速やかに安全な場所へ避難してください。

■対象地域
結城市結城(結城用水以東)、大谷瀬、小森、久保田、中、林、上山川東部、山王、芳賀崎、浜野辺、水海道

■開設避難所
結城小学校、結城第一高等学校、鹿窪運動公園、いきがいふれあいセンター、結城南中学校

※防災行政無線・テレビ・ラジオ等の情報に注意してください。
※近所の方にも声をかけて避難してください。

この投稿は【訓練】です。
【令和2年度結城市民防災訓練】

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■地域の防災リーダーの育成

③避難所受付訓練
④意見交換会

③【避難所受付訓練】

○新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所受付のデモンストレーション
○女性消防団による実演

④【意見交換会】

○自主防災組織の活動について意見交換
○各組織間による質疑応答

２）ソフト対策の主な取組　①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

●タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練
✓ロールプレイング等の実践的な訓練を実施、もしくは検討を行う。

令和２年度の取組状況

〇新型コロナウイルス感染症が拡大した社会情勢の中で避難所を開設することが想定される状況を受けて，避難者や地域住民の協力をいただきながら、避難所開設・運営訓練を実施し、実災害に向けての備えを強化した。
実施日：令和２年７月１２日（日）　９時～１１時
実施場所：松葉小学校、松葉コミュニティセンター
参加者：市職員、松葉小学校教職員，松葉地区住民、避難地区住民（馴柴地区、北文間地区、川原代地区）、セッツカートン株式会社等　計５９名
実施内容：避難所受付訓練，テント・間仕切り設営訓練等

↑受付訓練の様子

↑間仕切り設営訓練の様子

２）ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

●水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進
✓広報誌やホームページ等で広く募集していく

令和２年度の取組状況

↑水防団を担っている龍ケ崎市消防団員募集用チラシ

近年，令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風等大規模災害が増えており，消防団の役割が広がっていることから，若年層をはじめ，より多くの担い手を確保し，災害に強く，安心して暮らすことのできる龍ケ崎市を目指すことを目的に，新入団員募集のチラシを作成し，全戸配布した。

また，チラシの配布と併せ，市広報紙「りゅうほー」において，台風・集中豪雨時の堤防巡視活動や堤防決壊予防活動等を紹介し，消防団の水防活動における役割を発信することで，活動に対する市民への理解促進を図った。

実施時期：令和２年１１月
配布対象者：龍ケ崎市民全世帯（約３２，０００世帯）

下妻市

別紙２－１

１）ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

●防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布
✓防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布

令和2年度の取組状況

〇平成30年度から、老朽化したアナログ方式の防災行政無線のデジタル化に着手し、令和2年度までに操作卓、送信用電波塔、屋外拡声子局（55基）等を整備した。令和2年6月に「下妻市防災アプリ」、「下妻市防災ポータル」、「防災無線放送メール」の配信を開始した。屋内での受信については現在、アナログ方式の防災ラジオを配布しているが、今後デジタル方式の屋内受信機を整備予定

下妻市

別紙２－３

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

●タイムラインに基づく首長も参加した実践的な訓練
✓市防災訓練においてコロナ禍における災害対策本部運営訓練を実施

令和２年度の取組状況

〇8月10日（月・祝）、市防災訓練において新型コロナウイルス感染症対策下における災害対策本部の運営訓練を、タイムラインに沿って実施した。

参加者　下妻市（市長・副市長・教育長・各部長・消防交通課職員）・下妻市消防団・下妻消防署・下妻警察署・陸上自衛隊第1施設団本部及び第101施設器材隊

災害対策本部運営訓練後、市職員（避難所担当・保健師）が市総合体育館に参集し、間仕切り・段ボールベッドの作成・設置、避難所の開設・運営訓練を実施した。

下妻市

別紙２－６

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

●マイ・タイムライン作成講座の実施
✓自治区長及び市内2校を対象にマイ・タイムライン作成講座を実施

令和２年度の取組状況

〇マイ・タイムラインリーダーが講師となり、「活き活き出前講座」及び市内中学校２校で マイ・タイムライン作成講座を実施した。

2020年　8月 29日（土）	騰波ノ江地区区長社協連合会	24名
2020年 11月 27日（金）	東部中学校　生徒	99名
2020年 12月 10日（木）	千代川中学校　生徒	82名

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

●地域の防災リーダーの育成
✓地域の防災士やマイ・タイムラインリーダーへの研修を実施

令和２年度の取組状況

〇当市の福祉部門が支援している介護予防推進教室において，教室参加者を対象に，常総市防災士連絡協議会の会員が講師をつとめ，マイ・タイムライン作成教室を開催しました。この取り組みは，第一に自力避難するための体力向上を図りつつ，水害の際の逃げる計画（マイ・タイムライン）を自身で計画することで，より逃げ遅れゼロの取り組みになること，第二に講師は，講師・補助者を経験することによって自身のマイ・タイムラインリーダーとして研鑽ができる，いう2つの要素を兼ねた事業となっています。

〇令和２年１２月までの実施回数　6回
〇令和２年１２月までの参加人数　86人

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●出前講座等を活用した講習会の実施
✓出前講座等の要望があれば積極的に参加し、防災知識の普及啓発活動等

令和2年度の取組状況

地域の自主防災組織、自治会、学校、企業等からの出前講座要望があった際は積極的に参加し、啓発活動に取り組んでいる。市職員のみならず、防災士会、地域防災リーダーの方などと密に連携を取り、行政と地区が一体となった普及活動を進める。

(事例)
日付:令和2年11月26日
対象:茨城県立藤代紫水高等学校
人数:第1学年約240名
講師:防災士8名、取手市職員

(その他主なもの)

〇地元のマイ・タイムラインリーダー外部講師による市新採職員22名へのマイ・タイムライン作成講座(R2.11.18)

〇取手一高における地域マイスター授業にて、防災に関する講座を実施(R2.6.24,R2.11.4)

〇感染症対策を講じた上で各地区自治会等の出前講座や防災訓練を多数開催

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●小学生を対象とした防災教育の実施
✓小学校の総合学習授業等の中で、水災害教育に取り組んでいく。

令和2年度の取組状況

「逃げ遅れゼロ」を目指し、市内の小学生を対象とした防災教育を実施した。
内容は、年齢に合わせた防災概要説明から始まり、ハザードマップの見方、自治体の取り組み、「逃げキッド」によるマイ・タイムライン作成など多岐にわたる。

(事例1)
日付:令和2年10月28日
対象:取手市立白山小学校
人数:第4学年67名
講師:取手市

(事例2)
日付:令和2年12月10日
対象:取手市立取手小学校
人数:第6学年約70名
講師:国交省、取手市

つくば市

別紙２－４

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●防災教育の実施
✓洪水浸水想定区域を有する地域の小学校で出前講座を実施

令和２年度の取組状況

〇小学生を対象に、災害時に発表される情報の説明やハザードマップを活用して安全な場所を確認する等の啓発を行った。

令和２年（2020年）11月25日　■■上郷小学校の児童　40名

守谷市

別紙２－６

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

●ハザードマップの訓練等への活用
新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所設営訓練を実施

令和２年度の取組状況

○新型コロナウイルス影響下における災害への備えとして，令和２年９月６日（日）に，郷州小学校をモデル避難所として，避難所開設・運営等の訓練を実施した。参加者（自主防災組織の代表，まちづくり協議会の代表及び浸水想定区域内（みずき野地区）の住民）には一般避難者，体調不良者及び要配慮者役として，検温，健康チェックシートの記入からゾーン分けされた避難所内の移動等，新型コロナウイルス影響下における避難所を体験していただいた。

筑西市

別紙２－２

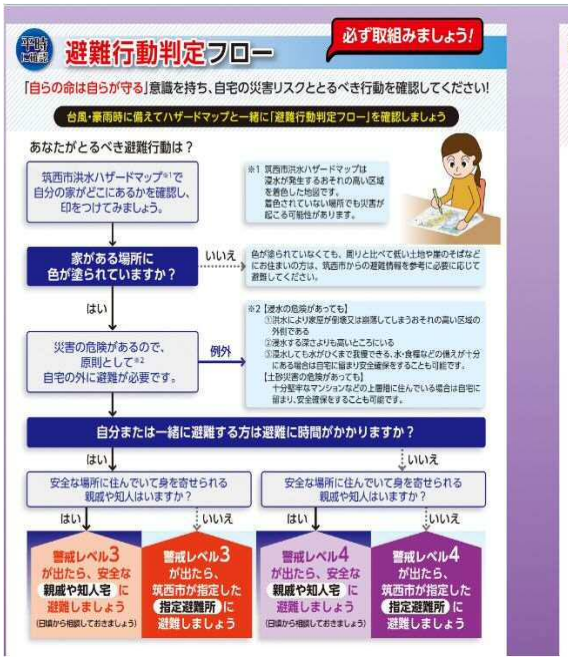
2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

〇広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知
・想定最大外力にもとづいた洪水を対象に、広域避難計画も反映した洪水ハザードマップを策定

令和2年度の取組状況

災害に備えるツールの１つとして活用していただくように、防災情報などを改訂した「筑西市洪水ハザードマップ（2020年8月改訂版）」を市内全戸（約37,700世帯）に配布。
情報面には、「避難行動判定フロー」や「避難情報のポイント」を新たに追加して、危険箇所の確認に加え、分散避難の考え方や避難情報の確認などの解説も掲載。



筑西市

別紙２－４

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

〇小学生を対象とした防災教育の実施
・小学校の防災訓練の中で洪水ハザードマップを活用し、水災害教育に取り組む。

令和2年度の取組状況

市内小学校において、筑西消防署と共に大規模地震を想定した各種訓練を実施し、防災意識の高揚及び災害時の対応能力の向上を図るとともに、洪水をはじめ、水害からの避難を想定し、洪水ハザードマップを活用しながら、警戒レベル、防災関連グッズなどを説明・指導する防災コーナーを併設し、防災知識の普及を推進。

〇 令和2年10月 2日（金） 嘉田生崎小学校・・・・141名参加
〇 令和2年10月20日（火） 村田小学校・・・・・・163名参加

筑西市

別紙２－５

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■共助の仕組み強化のための取組

・災害対応研修の場を活用し、ケアマネジャーへハザードマップ等の説明を実施

令和2年度の取組状況

災害時に適切な避難行動をとれるよう、日頃から高齢者一人ひとりが地域と連携し、災害リスクや避難場所、避難するタイミングへの理解を深めてもらうことを目的に、筑西市消防防災課と地域包括支援センター・各事業所ケアマネジャーが連携して、高齢者に対する水害からの避難行動の理解促進に向けた取組（説明・研修会）を実施。

〇令和２年９月１６日（水）　筑西市総合福祉センター２階
〇各介護支援事業所ケアマネジャー　７１名参加

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

●タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練
✓実践的な訓練を実施

令和2年度の取組状況

○ 茨城県・坂東市避難力強化訓練を実施

令和2年10月31日（土）、市立七重小学校、小山上農村集落センター、特別養護老人ホーム延寿館、坂東市役所を会場として、迅速・的確な避難行動の普及啓発や避難所での感染症対策の確認などを 目的に、茨城県と共同で「利根川の洪水からの避難」を想定した訓練を実施 した。

感染症に対応した避難所設営

マイ・タイムライン作成講座

要配慮者の避難

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●小学生を対象とした防災教育の実施
✓小学校の総合学習事業の中で、水災害教育に取り組んでいく

令和2年度の取組状況

○小学生を対象とした防災教育の一環としてマイタイムライン作成講座を開催

令和2年　9月15日　坂東市立七郷小学校　5年生、6年生　　63名
令和2年11月17日　坂東市立沓掛小学校　5年生、6年生　　85名

つくばみらい市

別紙２－４

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●水防災に関する説明会の開催
・災害時の避難啓発に係る住民説明会「水害時における避難体制の構築について」を実施

令和２年度の取組状況

〇浸水想定区域内の自治会を対象に住民説明会を行い，災害時における，新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所の開設方針や，避難所での感染リスクを考慮した，「分散避難」や「車中泊避難」の検討，さらに，避難時における，自助・共助の重要性を伝えました。

2020年　8月30日（日）　谷井田南３区
2020年　9月20日（日）　青木地区
2020年　11月 15（日）　谷井田北５区
その他，山王新田７期及び８期等地区等にて実施。

※新型コロナウイルス感染症対策のため，屋外にて当説明会を実施しました。

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

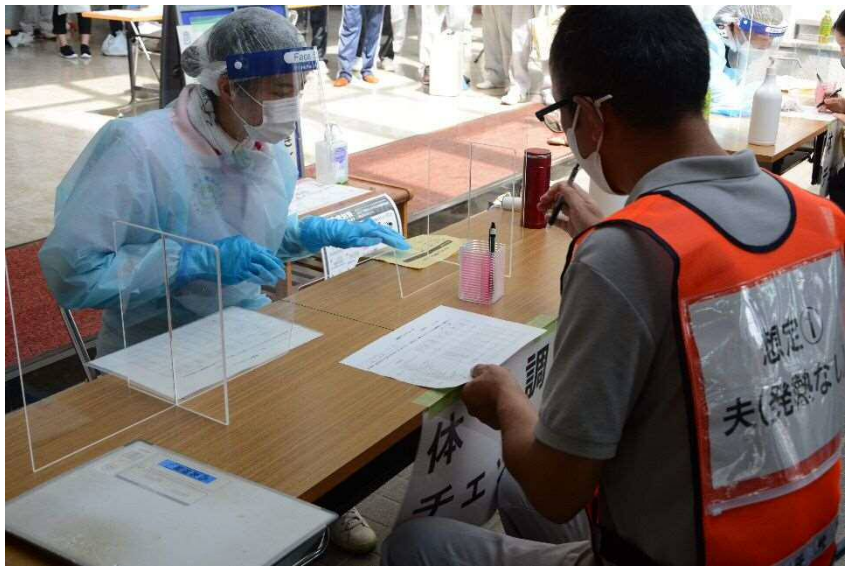
●タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練
✓水害時・新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所開設訓練を実施

令和２年度の取組状況

〇コロナ禍における鬼怒川の氾濫を想定し、感染拡大防止に対応した避難所開設・運営訓練を全職員で実施した。（８月３０日）

内容

・一般避難者、要配慮者、体調不良者、発熱者等、それぞれの避難者の受入れ手順の確認
・パーテーション、ダンボールベッドの組み立て、撤去訓練
・防護服等の着脱訓練



２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

●水防災意識強化週間における集中的な水防災に関する普及・啓発活動の実施
✓水防災意識強化週間に水防災に関するパネル展を実施

令和２年度の取組状況

〇水防災意識強化週間に水防災に関するポスターのパネル展を実施。洪水ハザードマップや啓発品の配布も同時に行い、来庁者への普及活動を実施した。

期間：令和２年９月３日（木）～１０日（木）
場所：八千代町役場庁舎（町民ホール）

利根町

別紙２－１

１）ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

●防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布
✓指定避難所などにWi-Fi（公衆無線LAN）設置

令和２年度の取組状況

避難所として利用頻度の高い公共施設と，災害対策の拠点となる役場の計４箇所でWiーFi（公衆無線LAN）によるインターネット接続ができるよう整備を行う。これにより，災害発生時に，情報伝達手段の確保が図れる。

利根町

別紙２－２

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

●タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練
✓新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた避難所開設訓練

令和2年度の取組状況

７月２２日に利根町役場・利根町文化センターにおいて，コロナウィルス感染対策を講じた，避難所開設訓練を実施。

災害対策本部を設置し，職員の初動訓練を行った。 コロナ禍ということもあり，各区の区長等と利根町防災士会の方々に，見学して頂いた。

① 受付時の訓練として，防護服着用職員による受付・検温
② 3密を避けるための，間仕切り設置訓練
③ 対策本部と避難所をリモートによる接続。モニターを通しての現場中継訓練。

利根町

別紙２－５

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■共助の仕組み強化のための取組

●地域包括支援センター・ケアマネジャーと連携した水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組の実施第
✓第１回・第2回ケアマネジャー研修会の実施

令和２年度の取組状況

利根町ケアマネジャー連絡協議会の，ケアマネジャーを対象に,災害時の避難行動や災害時の対策などについて研修をおこなう。

●第1回　令和2年　7月29日（27名参加）
町の過去の災害と対応，災害時の情報の取得方法について

●第2回　令和2年11月17日（31名参加）
ハザードマップの説明，町の避難所の状況について

第１回研修会

第2回研修会

茨城県

別紙２－２

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

●要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
✓■要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援

令和2年度の取組状況

１　市町村へ要配慮者施設の確認及び地域防災計画への位置付けを依頼し，対象施設の取組状況を取りまとめた。

２　市町村，河川事務所，気象庁と連携し，「要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会」を開催した。

３　また，作成率が８割を超えたことから，作成支援から避難訓練の支援に軸足を移しつつある。

茨城町における要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会

※　コロナ禍にあり施設からの協力が得られにくいが，大子町，つくば市の施設において避難確保計画に基づく避難訓練を支援予定。

４　災害対応勉強会において，作成率が飛躍的に向上した取手市の取り組みの紹介を行うとともに，要配慮者利用施設の考え方について提示した。

茨城県

別紙２－６

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

●マイ・タイムライン作成講座の実施
✓住民避難力強化事業（マイマップ等作成事業）の実施

令和2年度の取組状況

令和２年度住民避難力強化事業において，マイ・タイムライン等の作成支援事業を実施した。
・実施回数：計１９回（１２市町）　　※令和２年１２月１５日時点
・対　　象：水害の危険度が高い地域に居住する県民，県庁見学により来庁した小学生，要配慮者を支援する福祉関係職員
※県内の市町村及び県関係部局と連携し，様々な年代の県民に向けた防災知識の効果的な啓発を促進した。
・実施内容：①ハザードマップを活用した居住地域の災害リスク及び避難先の確認。
②避難勧告等行政が発信する情報の確認及び避難のタイミングの検討。
③マイ・タイムライン作成を通じた，避難に向けた準備行動及び行動するタイミングの検討。
※家庭におけるマイ・タイムラインの作成を支援する為，家族構成に応じた４つの作成例や，作成支援動画を制作し，県ホームページへ掲載している。

← 県庁見学における
マイ・タイムライン作成
講座（県政シアター）

ケアマネジャー等への →
マイ・タイムライン作成講座
（利根町役場大ホール）

↑ マイ・タイムライン作成支援動画

← マイ・タイムラインの作成例

茨城県

別紙２－２

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

○新たに、県管理河川１３河川について、洪水浸水想定区域図の作成及び基準水位の設定を進めております。

○避難勧告等の発令や避難所の体制など、市町村との調整が整った河川について、今後、公表していきます。

令和２年度の取組状況

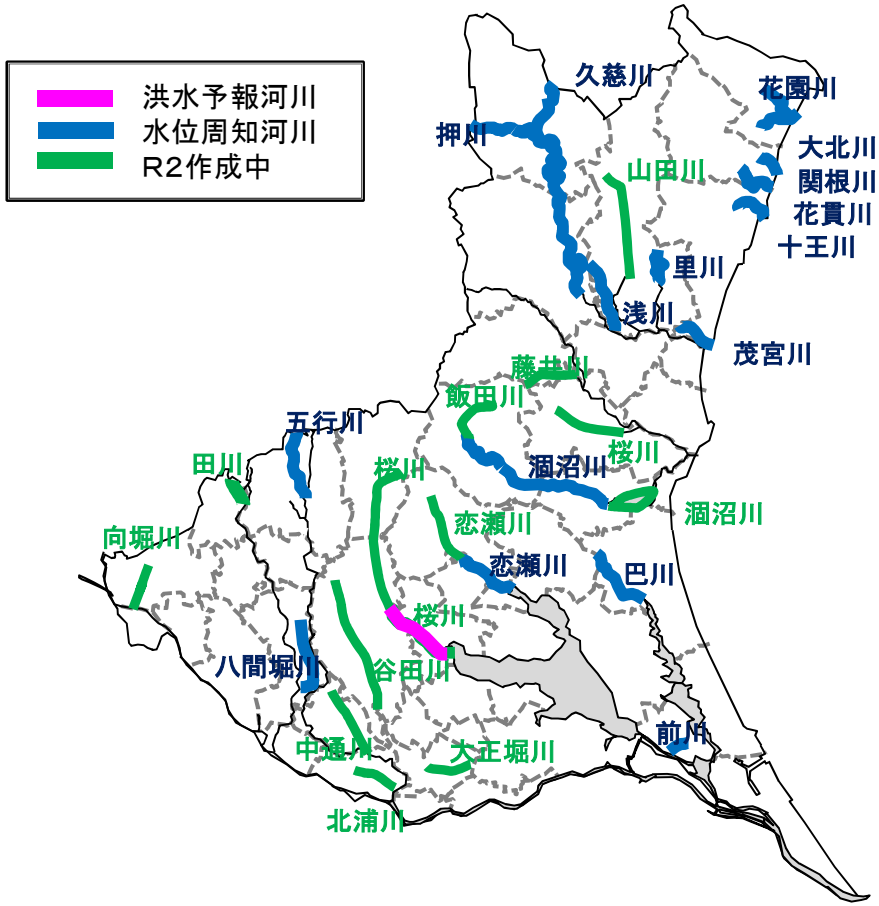
＜作成済の河川＞　１７河川

○洪水予報河川　：　利根川水系桜川
○水位周知河川　：
久慈川水系　久慈川、押川、浅川、里川、茂宮川
那珂川水系　涸沼川
利根川水系　恋瀬川、巴川、前川、五行川、八間堀川
二級河川　花園川※1、大北川※1、関根川、花貫川、十王川※1

＜現在、作成中の河川＞　１３河川

那珂川水系　桜川、藤井川※1、涸沼川
久慈川水系　山田川※1、飯田川※1
利根川水系　桜川、恋瀬川、谷田川、中通川、北浦川、大正堀川、田川、向堀川

※1　ダム下流河川



茨城県

別紙２－７

２）ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

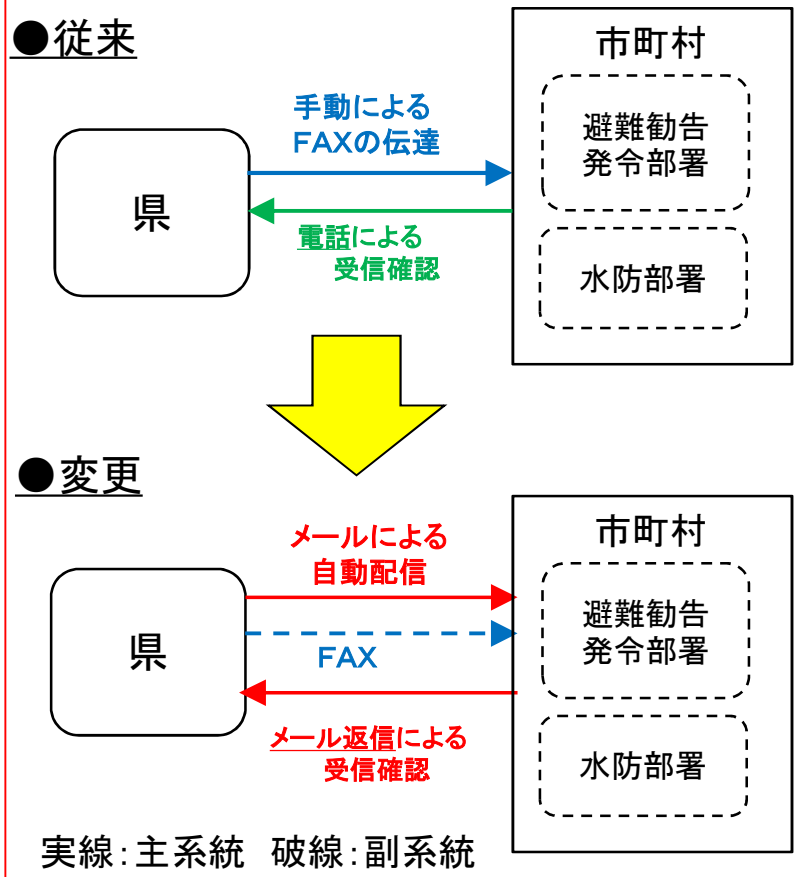
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

○県河川の情報を迅速に市町村へ伝達するため、洪水警報、水防警報、水位到達情報の伝達について，従来の手動によるFAXの伝達から、 自動配信によるメールを主とした伝達 に変更しました。（R2.9.29伝達訓練を実施）

○また、気象庁の危険度分布を活用し、「水防警報」に予測水位の情報を追記しました。

○今後、国河川に係る情報についても、メールを主にした伝達に変更します。

令和2年度の取組状況



演　習

水　防　警　報

茨城県 水戸土木事務所発表

令和2年10月05日　時　分

発　令　河　川	基準水位観測所	発　令　情　報	発　表　番　号
涸沼川	高橋	準備	1

【現況】
【警戒レベル１相当情報[洪水]】
2　高橋水位観測所の水位は、5日11時40分現在0.44mです。
3-1　高橋の水位は、5日11時40分に水防団待機水位(指定水位)を下回りました。

【予想】
危険度分布（気象庁）によると、警戒レベル４相当（紫）のため、今後、氾濫危険水位付近までの上昇が見込まれます。

【指示】
9　水防機関は、準備してください。

※洪水警報の危険度分布（気象庁）より，警戒レベル4（紫）になった河川については，水位上昇の見込みを記載。

茨城県

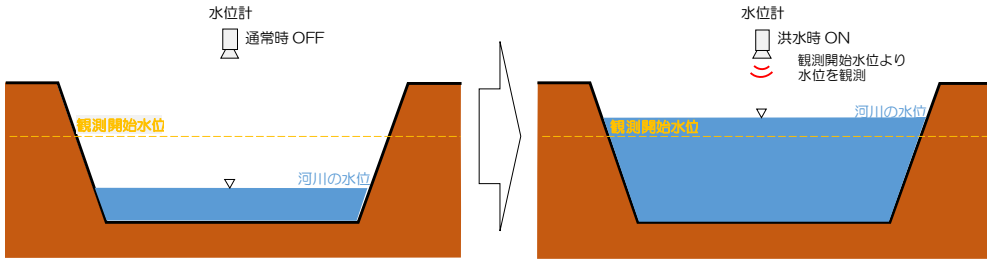
別紙２－１

２）ソフト対策の主な取組

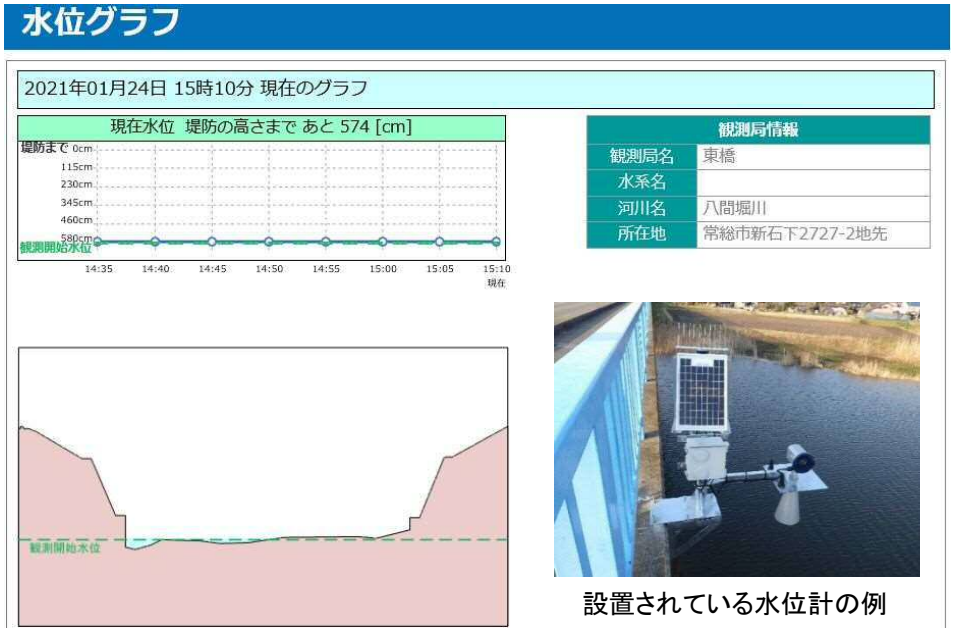
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

○県では、地先レベルでのきめ細やかな水位把握ができるよう、洪水時の水位観測に特化した**「危機管理型水位計」**の設置を平成30年度より進めており、住民の迅速な避難行動に役立つ情報を提供しております。
○設置においては、主に堤防高さや川幅などから，相対的に氾濫が発生しやすい箇所や、人家密集地域の浸水する可能性が高い箇所などを抽出、現地状況等を考慮し配置箇所を選定しております。令和2年度は新たに49箇所を増設し、県内全117箇所が設置済み。

令和2年度の取組状況



水位が観測水位より低い場合　　水位が観測水位より高い場合



設置されている水位計の例

県が設置した危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの情報は、**県ホームページや右のQRコードより「茨城県土木部雨量・河川水位情報」→「現況表」→「危機管理型水位情報」**で確認することができます。

茨城県

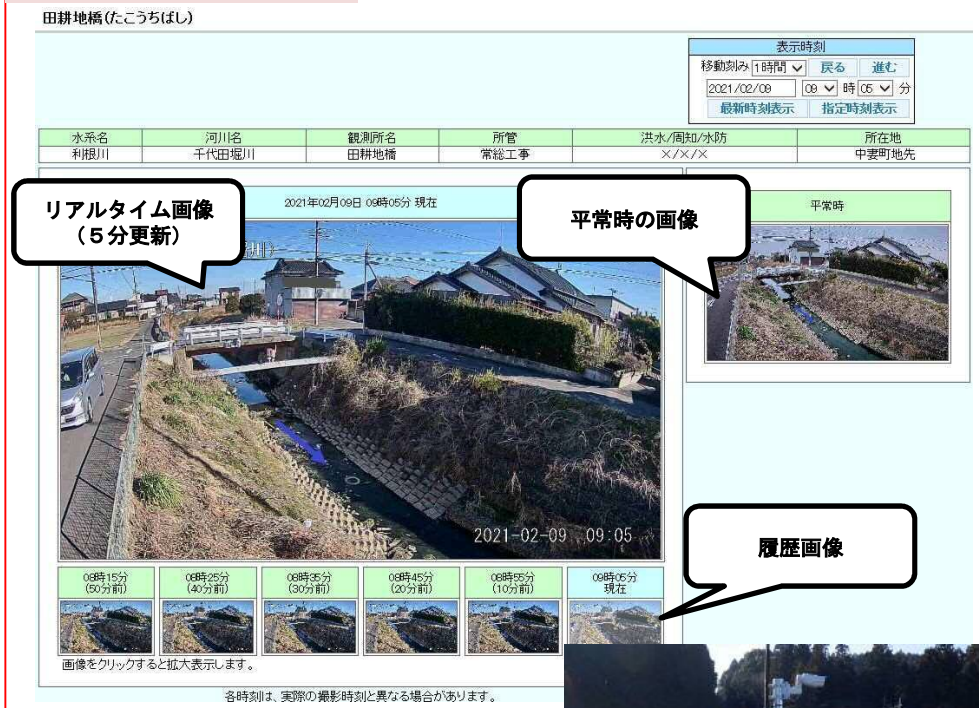
別紙２－１

２）ソフト対策の主な取組

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

〇県では、氾濫の危険性が高く、人家や重要施設のある箇所に**「簡易型河川監視カメラ」**を設置し、河川状況を確認することで、従来の水位情報に加え、リアリティーのある洪水状況を画像として住民と共有し、適切な避難判断を促す。
〇令和２年度は令和元年東日本台風で被災した河川を中心に、簡易型河川監視カメラを67河川101箇所新設した。

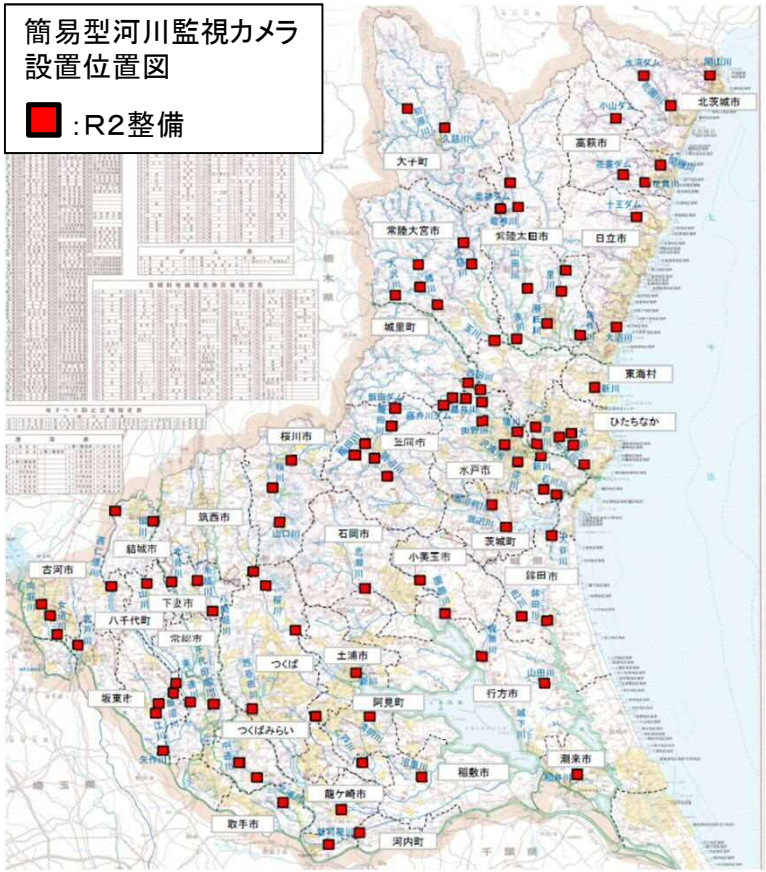
令和２年度の取組状況



設置されている
簡易型河川監視カメラの例

簡易型河川監視カメラ
設置位置図

■ :R2整備



県が設置した危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの情報は、**県ホームページや右のQRコードより「茨城県土木部雨量・河川水位情報」→「現況表」→「カメラ情報」**で確認することができます。

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

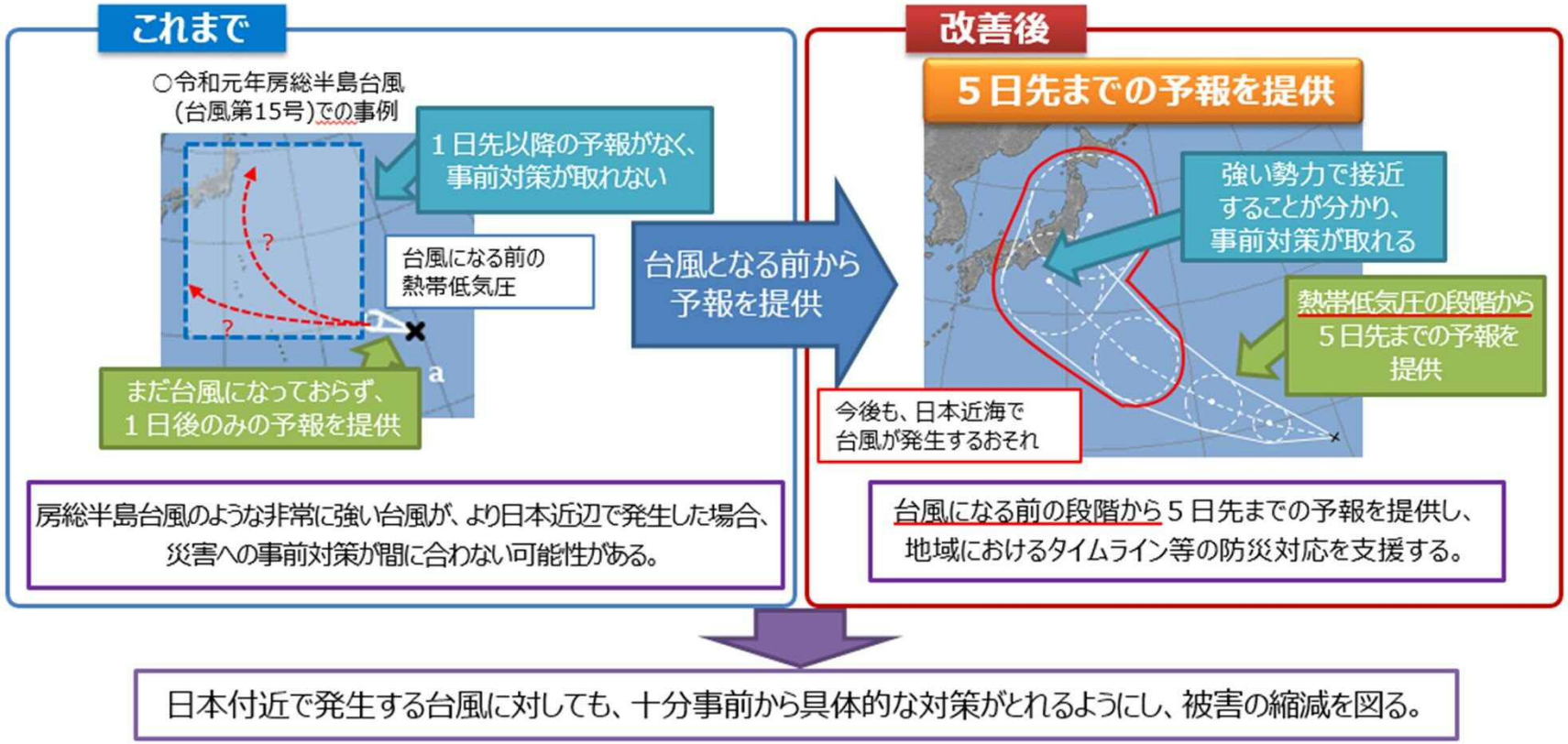
■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

●気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

令和２年度の取組状況

発達する熱帯低気圧に関する情報の充実

台風接近時の防災行動計画（タイムライン）に沿った対応を効果的に支援するため、24 時間以内に台風に発達する見込みの熱帯低気圧の予報を、これまでの1日先までから5日先までに延長



水戸地方気象台

別紙２－２

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

●気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

令和2年度の取組状況　**大雨特別警報解除後の洪水への警戒呼びかけの改善**

大雨に関する熊本県気象情報 第１２号
令和２年７月４日１２時２３分 熊本地方気象台発表

大雨の峠を越え、大雨特別警報は警報に切り替えましたが、球磨川では氾濫が発生している所があるため、洪水への一層の警戒が必要です。指定河川洪水予報をご確認ください。

球磨川洪水予報(臨時)
令和2年7月4日12時00分
国土交通省 八代河川国道事務所
気象庁 熊本地方気象台

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、
球磨川では今後も氾濫に警戒が必要です。

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川の洪水はこれからも警戒が必要です。天候が回復しても、氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。

■ 球磨川（くまがわ）　では、　氾濫発生情報（警戒レベル5相当情報）を発表中です。

河川名	水位観測所	水位状況	今後の見込み
球磨川（くまがわ）	萩原（はぎはら）（熊本県八代市（くまもとけん やつしろし））	氾濫発生中	水位上昇中。まもなく最高水位
球磨川（くまがわ）	大野（おおの）（熊本県球磨郡球磨村（くまもとけんくまぐん くまむら））	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川（くまがわ）	渡（わたり）（熊本県球磨郡球磨村（くまもとけんくまぐん くまむら））	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川（くまがわ）	人吉（ひとよし）（熊本県人吉市（くまもとけん ひとよし））	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川（くまがわ）	一武（いちぶ）（熊本県球磨郡錦町（くまもとけんくまぐん にしきまち））	氾濫危険水位超過	水位は横ばい
球磨川（くまがわ）	多良木（たらぎ）（球磨郡多良木町（くまぐん たらぎまち））	氾濫危険水位超過	水位は横ばい

★気象庁ホームページにおける「河川氾濫に関する情報」は「府県気象情報」で確認

大雨特別警報解除後の洪水への警戒を促すため、特別警報の解除を警報への切替と表現

警報への切替に合わせて今後の洪水の見込みについて情報を発表

今後の洪水の見込みを発表し、引き続き洪水の危険があること、大河川においてはこれから危険が高まることを注意喚起

メディア等を通じ住民へ適切に注意喚起

警報への切替に先立って本省庁の合同記者会見等を開催することで、メディア等の協力を得て住民に警戒を呼びかける（SNSや気象情報、ホットライン、JETTによる解説などあらゆる手段で注意喚起）

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

令和2年度の取組状況

あなたの命、あなたの大切な人の命を守るため

台風･豪雨から「自らの命は自らが守る」基本的な知識ととるべき行動を学ぶ

パソコンやスマホ等で
時間や場所を気にせず
自由に受講
（住民の皆さん）

音声解説付き動画教材
（教材イメージ）

学習する5つのステップ

- 01．避難の理解からはじめよう（避難を行うためのポイントを理解しよう）
- 02．あなたの家は大丈夫？（あなたの家の災害リスクを知ろう）
- 03．どこに逃げたらいい？（大雨の時の避難先）
- 04．避難するときどうする？（避難にかかる時間を考えよう）
- 05．いつ逃げたらいい？（あなたの避難のタイミングを考えよう）

各ステップごと、ふりかえりテストで
重要ポイントを確認しながら学習

台風・豪雨時に備えて
・自宅の災害リスク
・いつ避難すべきか
・どこへ避難すべきか
、、、が学べます。

学んだことを
ぜひ、周囲の人へ
広めてください

eラーニング教材『大雨のときにどう逃げる』
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jma-el/dounigeru.html

気象庁

本教材は、諏訪清二先生（兵庫県立大学 特任教授、防災学習アドバイザー・コラボレーター）の助言を受けながら制作

水戸地方気象台

別紙２－４

２）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

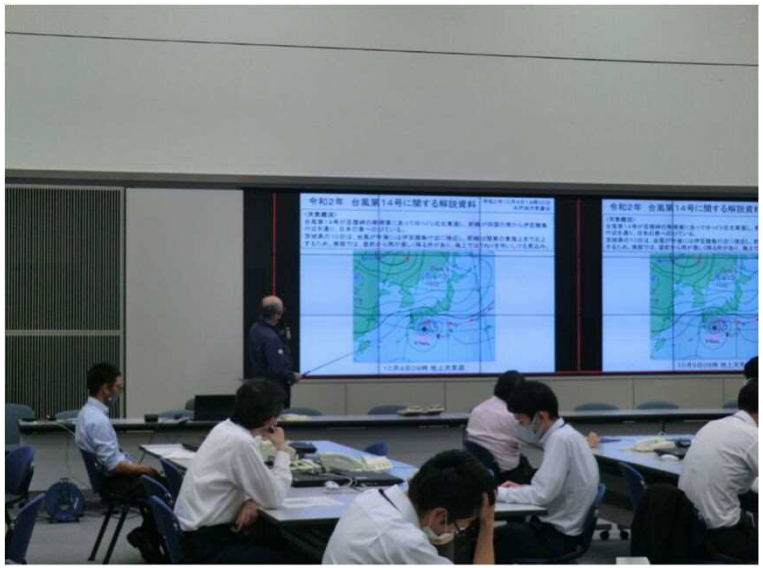
■防災教育や防災知識の普及

●水防災に関する説明会の開催
✔水防災に関する説明会を開催

令和2年度の取組状況

令和2年9月9日　結城市民文化センターアクロス

茨城県主催による「いばらき防災大学」において、気象情報の「利活用」について講義を行い、並びに気象庁ワークショップを開催。



令和2年10月9日　茨城県庁（台風第14号）

茨城県庁と気象台の2箇所で台風第14号の接近に伴う説明会を開催。茨城県庁での説明は県内の市町村や関係機関へWeb配信を実施。
※他、令和2年9月23日台風第12号説明会を実施

2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●小学生を対象とした防災教育の実施
✓小学校の総合学習授業の中で、水災害教育に取り組んでいく

令和2年度の取組状況

「自然災害伝承碑の地図化を通じた災害教訓の周知・普及」の取組

取組目的

国土地理院では、令和元年度から災害教訓の伝承に関する地図・測量分野からの貢献として、過去の自然災害に関する石碑やモニュメントなど「自然災害伝承碑」を地形図等に掲載していきます。これにより、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指します。

掲載数

協議会	市町村名	掲載数
上流	さくら市	1基
下流	龍ケ崎市	2基
下流	常総市	6基
	合計	9基

R2.12.16現在

表示イメージ

国土地理院では、**令和元年６月から「地理院地図」において、**全国各地に建立されている**自然災害伝承碑に関する情報（位置や伝承内容など）を公開**しています。

概要	
碑名	決壊の跡
災害名	平成27年9月関東・東北豪雨（2015年9月10日）
災害種別	洪水
建立年	2017
所在地	茨城県常総市三坂町
伝承内容	平成27年（2015）9月10日、関東地方から東北地方にかけて多数の線状降水帯が次々と発生し、鬼怒川で堤防が決壊した。市域の約3分の1が浸水、決壊地点では建物が流失し、浸水が解消するまでに10日間を要した。

ID:08211-001

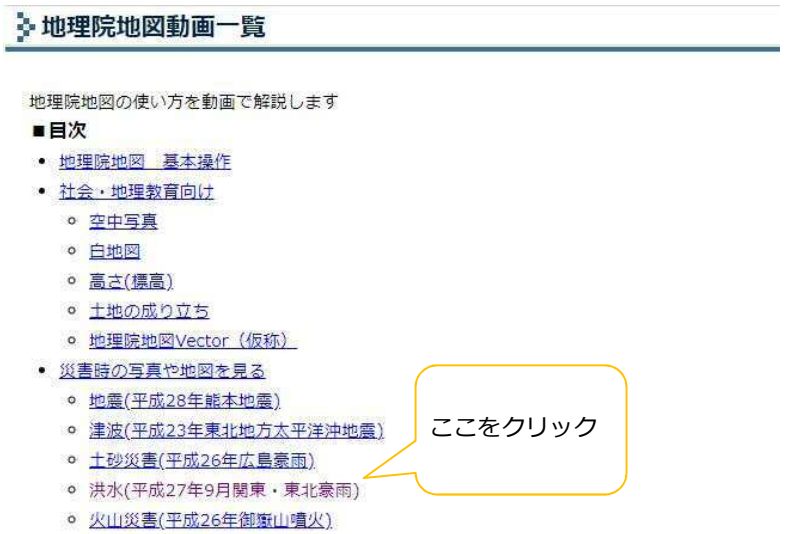
2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

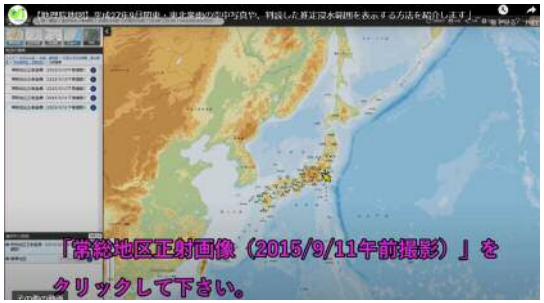
■防災教育や防災知識の普及

●小学生を対象とした防災教育の実施
✓小学校の総合学習授業の中で、水災害教育に取り組んでいく

令和2年度の取組状況　地理院地図の使い方を解説する動画を作成、公開

学校の地理・防災教育で活用してもらえるよう、国土地理院では「地理院地図」の使い方を説明した動画を作成、公開しました。





2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●普及・啓発活動
✓水災害を風化させないための普及・啓発活動の取組み

令和2年度の取組状況　水防災意識強化週間におけるパネル展示

水防災意識強化週間の普及・啓発活動の取組として、関東地方測量部及び国土地理院「地図と測量の科学館」でパネル展示を行いました。

展示パネル

関東地方測量部

地図と測量の科学館